

当リリースは農政クラブ、エネルギー記者会に配布を実施しております。

2009年1月7日

記者各位

日本微生物防除剤協議会

## 「第2回環境保全型農業シンポジウム」の開催について ～ IPM の実践と微生物防除剤 ～

日本微生物防除剤協議会は、2009年3月3日(火)に「環境保全型農業シンポジウム」を開催しますので、お知らせいたします。

日本の農業が持続的に発展するため、そして国が重要施策に挙げる「環境保全型農業」、「食の安全・安心」を推進するためには、環境に配慮した生産技術を取り入れることが重要です。今回、メインテーマに掲げている「IPM(Integrated Pest Management:総合的病害虫・雑草管理)」は、各種防除手段を適切に組み合わせて作物の病害虫群集を管理する技術です。IPMを実践することにより、化学農薬の削減、薬剤の抵抗性発達を遅らせるなど、環境に対する影響が少なく、安定した農業生産が可能となります。

当シンポジウムは、微生物防除剤を活用してIPM農業を実践している地域事例や微生物防除剤の具体的な使用法の報告を通じて、微生物防除剤の理解と普及を目的に開催するものです。

皆様のご来場をお待ち申し上げます。

＜微生物防除剤(微生物農薬)とは＞

もともと自然界に生息する有用な微生物を製剤化したもので、作物を病害虫から守ります。

＜環境保全型農業とは＞

農業の持つ物質循環機能を生かし、生産性との調和などに留意しつつ、土づくり等を通じて化学肥料、農薬の使用等による環境負荷の軽減に配慮した持続的な農業。  
(農林水産省ホームページより)

### 1. 日時

2009年3月3日(火)

開場:9:30/開演:10:30/終了予定:17:15

### 2. シンポジウム会場

江戸東京博物館 1階大ホール

東京都墨田区横網 1-4-1/Tel:03-3626-9974

交通のご案内:JR 総武線 両国駅西口下車 徒歩3分

都営大江戸線 両国駅(江戸東京博物館前) A4 出口 徒歩1分

### 3. 講演者(敬称略)

#### (1) 基調講演

大岡 高行(農林水産省 消費・安全局 植物防疫課 課長補佐)  
「施設園芸における IPM の推進と展開」

#### (2) 特別講演

高橋 賢司(農業・食品産業技術総合研究機構  
中央農業総合研究センター 研究管理監)  
「日本における IPM の実践と微生物防除剤の役割、展望」

#### (3) 先進事例報告 座長:岡田 齊夫(日本植物防疫協会 理事)

- ①増田 俊雄 (宮城県農業・園芸総合研究所 上席主任研究員)  
「宮城県における微生物防除剤を基幹とした野菜類の害虫防除」
- ②小木曾 秀紀 (長野県野菜花き試験場 研究員)  
「長野県における微生物防除剤を基幹としたレタス、キャベツの病害防除」
- ③福田 充 (栃木県農業試験場 室長)  
「栃木県における微生物防除剤を基幹としたトマトの病害防除」
- ④藤 晋一 (秋田県立大学 准教授)  
「微生物防除剤を用いた水稻種子消毒の展開」

#### (4) 微生物防除剤の上手な使い方

- ①微生物殺虫剤 : 「ボタニガードES」「マイコタール」 山中 聡(アリストライフサイエンス株)
- ②微生物殺菌剤 : 「バイオキーパー」「ベジキーパー」 塩田 正幸(セントラル硝子株)
- ③微生物殺菌剤・植物成長調整剤 : 「セル苗元気」 水野 博之(多木化学株)
- ④微生物殺菌剤 : 「ボトキラー水和剤」「タフブロック」 尾川 新一郎(出光興産株)

### 4. 主催

日本微生物防除剤協議会  
(アリストライフサイエンス株、出光興産株、セントラル硝子株、多木化学株)

### 5. 後援

●農林水産省 ●宮城県 ●栃木県 ●長野県 ●農業・食品産業技術総合研究機構  
中央農業総合研究センター ●日本植物病理学会 ●日本応用動物昆虫学会 ●日本植  
物防疫協会 ●日本植物調節剤研究協会 ●農林水産航空協会 ●全国農業改良普及  
支援協会 ●全国農業協同組合連合会 ●全国農薬協同組合 ●日本バイオリジカルコ  
ントロール協議会

日本微生物防除剤協議会 事務局(土井) TEL:03-3829-1466  
URL:<http://www.biseibutsu.jp/>  
E-mail: support@biseibutsu.jp

出光興産株式会社 IR・広報室広報課(飯沼) TEL:03-3213-3115

## 日本微生物防除剤協議会の概要

日本微生物防除剤協議会は、「微生物防除剤」の普及促進を目的として、2006年8月1日に設立しました。会員会社は、アリストライフサイエンス(株)、出光興産(株)、セントラル硝子(株)、多木化学(株)の4社で、アドバイザーは、社団法人日本植物防疫協会の岡田齊夫理事と東京農工大学大学院の国見裕久教授です。

## 日本微生物防除剤協議会・会員各社の概要

### ■ アリストライフサイエンス株式会社

資本金:192億79百万円

代表者:代表取締役社長 クリストファー リチャーズ

事業内容:農薬・肥料・医薬品、医薬部外品、化粧品などの化学製品およびそれらの原材料の売買、貿易、製造、加工など

売上高:連結1,360億円(2007年12月期)

### ■ 出光興産株式会社

資本金:1,086億円(2008年3月末現在)

代表者:代表取締役社長 天坊 昭彦

事業内容:石油製品の精製・販売、石油化学製品の製造販売、資源調達、農業分野など

売上高:連結3兆8,643億円(2007年度実績)

### ■ セントラル硝子株式会社

資本金:181億円

代表者:代表取締役 社長執行役員 皿澤 修一

事業内容:各種板ガラス製品、化学品、ファインケミカル製品、肥料、ガラス繊維、微生物農薬・資材

売上高:連結1,932億円(2007年度実績)

### ■ 多木化学株式会社

資本金:21億円

代表者:代表取締役社長 多木 隆元

事業内容:アグリ事業(複合肥料、リン酸質肥料、加里質肥料及びその他肥料の製造、販売)

化学品事業(水処理剤、機能性材料、一般化学品及びその他化学品の製造、販売)

不動産事業(不動産の賃貸及び開発)ほか

売上高:連結294億円(2007年度12月期)

# 「第2回環境保全型農業シンポジウム」

## ～IPMの実践と微生物防除剤～

### 開催のお知らせ

国の重要施策である「環境保全型農業の推進」「食の安全・安心の確保」に対して  
微生物防除剤（微生物農薬）の積極的な活用が望まれています。

本シンポジウムは、微生物防除剤を活用し、IPM農業を体系的・先進的に実践している地域事例、  
具体的な微生物防除剤の上手な使い方などの報告を通じて  
日本の農業を、より人と環境に優しくし、かつ食の安全・安心に貢献する微生物防除剤の  
いっそうのご理解と全国への普及を目的とするものです。  
皆様の積極的なご参加をお待ちしています。

日本微生物防除剤協議会は、自然界の微生物を有効成分とする微生物防除剤の普及推進を行っています。

IPM (Integrated Pest Management: 総合的病害虫・雑草管理) は各種防除手段を適切に組み合わせて作物の病害虫群集を管理する技術です。IPMの実践により、化学農薬の削減、薬剤抵抗性発達を遅らせるなど、環境に対する影響が少なくかつ安定した農業生産が可能となります。

2009年 **3月3日** (火) 10:30～17:15

会場：江戸東京博物館 1階大ホール  
(東京都墨田区)

資料代として¥2000 (税込)

定員：400名

※定員となり次第締切とさせていただきます。お申し込み頂いても参加できない場合がございますので予めご了承下さい。

お申し込み期間：2009年1月7日 (水)

～2月20日 (金) まで

お申し込み方法：ホームページでご確認ください。

<http://www.biseibutsu.jp>

FAX：(03) 3829-1463

Eメール：support@biseibutsu.jp

主催：日本微生物防除剤協議会 (アリスタライフサイエンス、出光興産、セントラル硝子、多木化学)

後援：●農林水産省 ●宮城県 ●栃木県 ●長野県 ●農業・食品産業技術総合研究機構 中央農業総合研究センター  
●日本植物病理学会 ●日本応用動物昆虫学会 ●日本植物防疫協会 ●日本植物調節剤研究協会  
●農林水産航空協会 ●全国農業改良普及支援協会 ●全国農業協同組合連合会 ●全国農業協同組合  
●日本バイオリジカルコントロール協議会

お問い合わせ：日本微生物防除剤協議会 事務局 TEL：(03)3829-1466 9:00～17:00 (土・日・祝日除く)  
お申し込み頂いた方の個人情報は事務局が厳重に管理し、第三者に開示・提供はいたしません。(法令などにより開示を求められた場合を除く)

## プログラム

受付開始 9:30～

※敬称略

午前の部	10:30～	開会挨拶	堤 憲太郎 (日本微生物防除剤協議会 代表幹事)
	10:40～	基調講演	大岡 高行 (農林水産省 植物防疫課 課長補佐) 「施設園芸における IPM の推進と展開」
	11:20～	特別講演	高橋 賢司 (農業・食品産業技術総合研究機構 中央農業総合研究センター 研究管理監) 「日本における IPM の実践と微生物防除剤の役割、展望」

午後の部	13:00～	先進事例報告	座長：岡田 齊夫 (日本植物防疫協会 理事)
		①増田 俊雄 (宮城県農業・園芸総合研究所 上席主任研究員)	「宮城県における微生物防除剤を基幹とした野菜類の害虫防除」
		②小木曾 秀紀 (長野県野菜花き試験場 研究員)	「長野県における微生物防除剤を基幹としたレタス、キャベツの病害防除」
		③福田 充 (栃木県農業試験場 室長)	「栃木県における微生物防除剤を基幹としたトマトの病害防除」
		④藤 晋一 (秋田県立大学 准教授)	「微生物防除剤を用いた水稻種子消毒の展開」

15:30～	微生物防除剤の上手な使い方	
	①山中 聡 (アリスライフサイエンス株式会社)	微生物殺虫剤 : 「ボタニガード ES」 「マイコタール」
	②塩田 正幸 (セントラル硝子株式会社)	微生物殺菌剤 : 「バイオキーパー」 「ベジキーパー」
	③水野 博之 (多木化学株式会社)	微生物殺菌剤・植物成長調節剤 : 「セル苗元気」
	④尾川 新一郎 (出光興産株式会社)	微生物殺菌剤 : 「ボトキラー水和剤」 「タフブロック」

17:10～	閉会挨拶	岡田 齊夫 (日本植物防疫協会 理事)
--------	------	---------------------

## 会場案内

### 江戸東京博物館

#### 1階 大ホール

〒130-0015 東京都墨田区横網 1-4-1

TEL : (03) 3626-9974

HP : <http://www.edo-tokyo-museum.or.jp>

#### 【交通のご案内】

JR 総武線 両国駅 西口 下車 徒歩 3分

都営大江戸線 両国駅 A4 出口 徒歩 1分

